

2016年3月期第2四半期決算説明会 経営概況

2015年11月4日

株式会社 IHI
代表取締役社長 齋藤 保

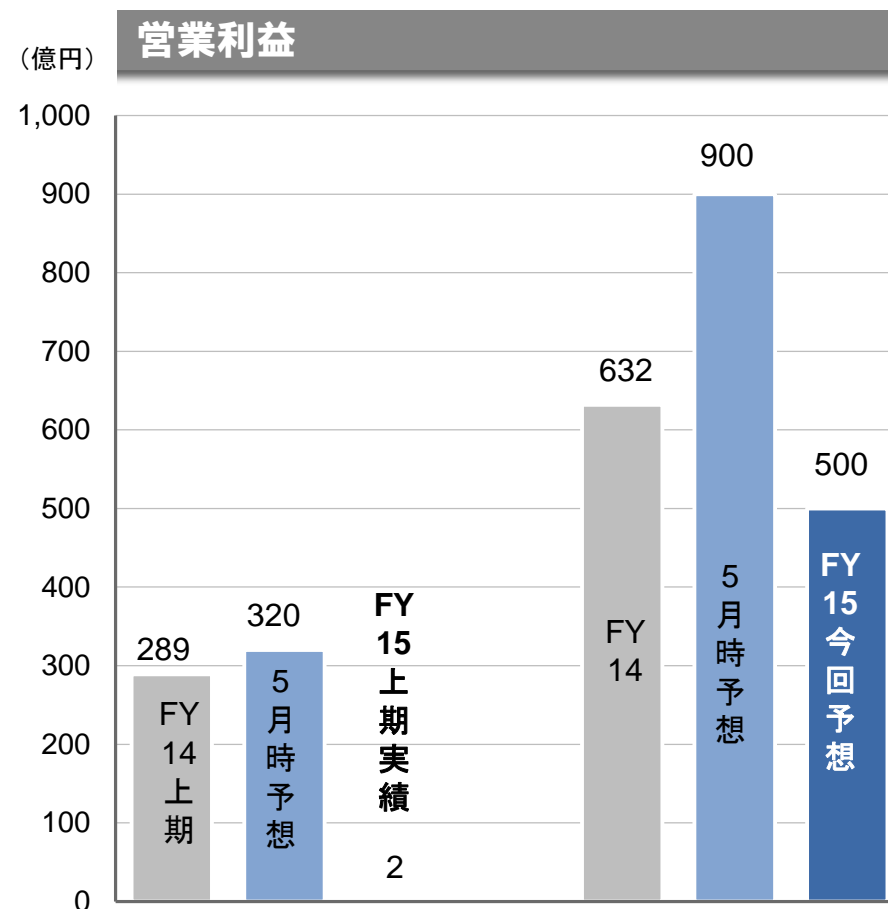
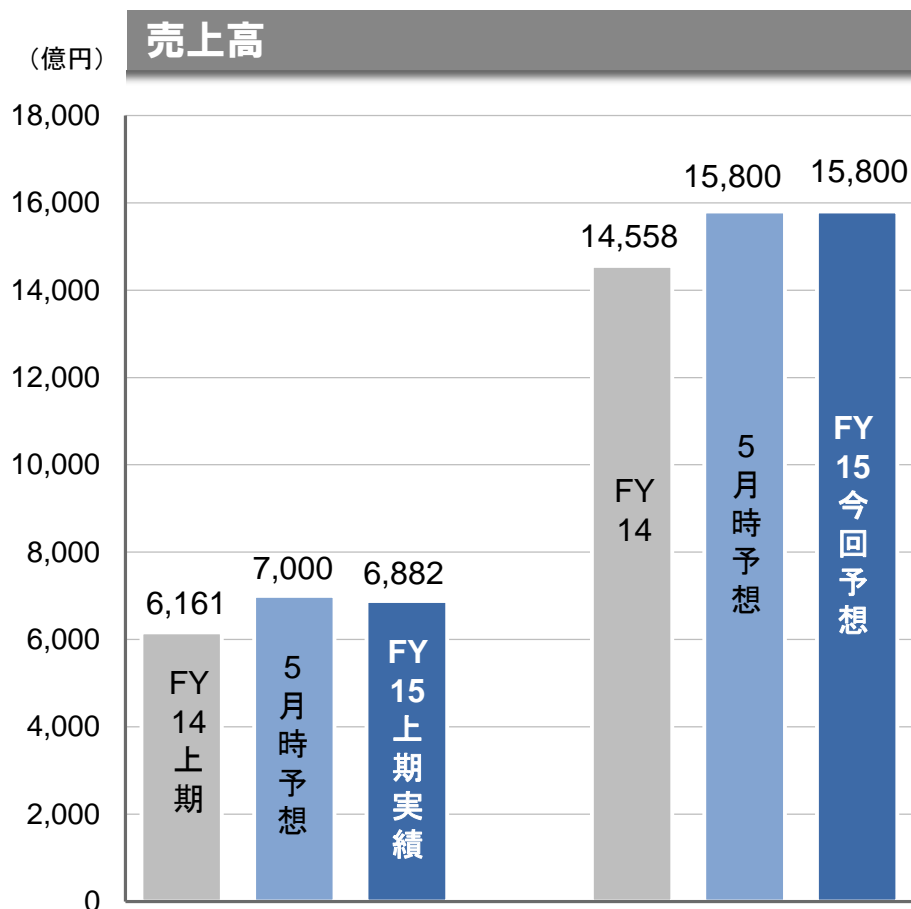
1. 経営概況.....	3
2016年3月期第2四半期決算レビュー.....	4
2016年3月期業績見通し.....	6
大型工事における大幅下振れの改善対策.....	7
「グループ経営方針2013」目標数値.....	8
2. 「グループ経営方針2013」進捗状況.....	9
海外大型案件の進捗状況.....	10
資源・エネルギー・環境事業.....	12
社会基盤・海洋事業.....	13
海洋構造物事業(愛知工場)の今後について.....	14
産業システム・汎用機械事業.....	15
航空・宇宙・防衛事業.....	16

経営概況

2016年3月期第2四半期決算レビュー①

■「グループ経営方針2013」最終年度は予想を大幅に下振れ

- 上期は、計画(5月時予想)に対し、売上高は若干の減収だったものの、営業利益は大幅に減益
- 通期は、為替前提を変更せず(115円/\$), 売上高予想は維持するものの、営業利益予想は大幅に下方修正



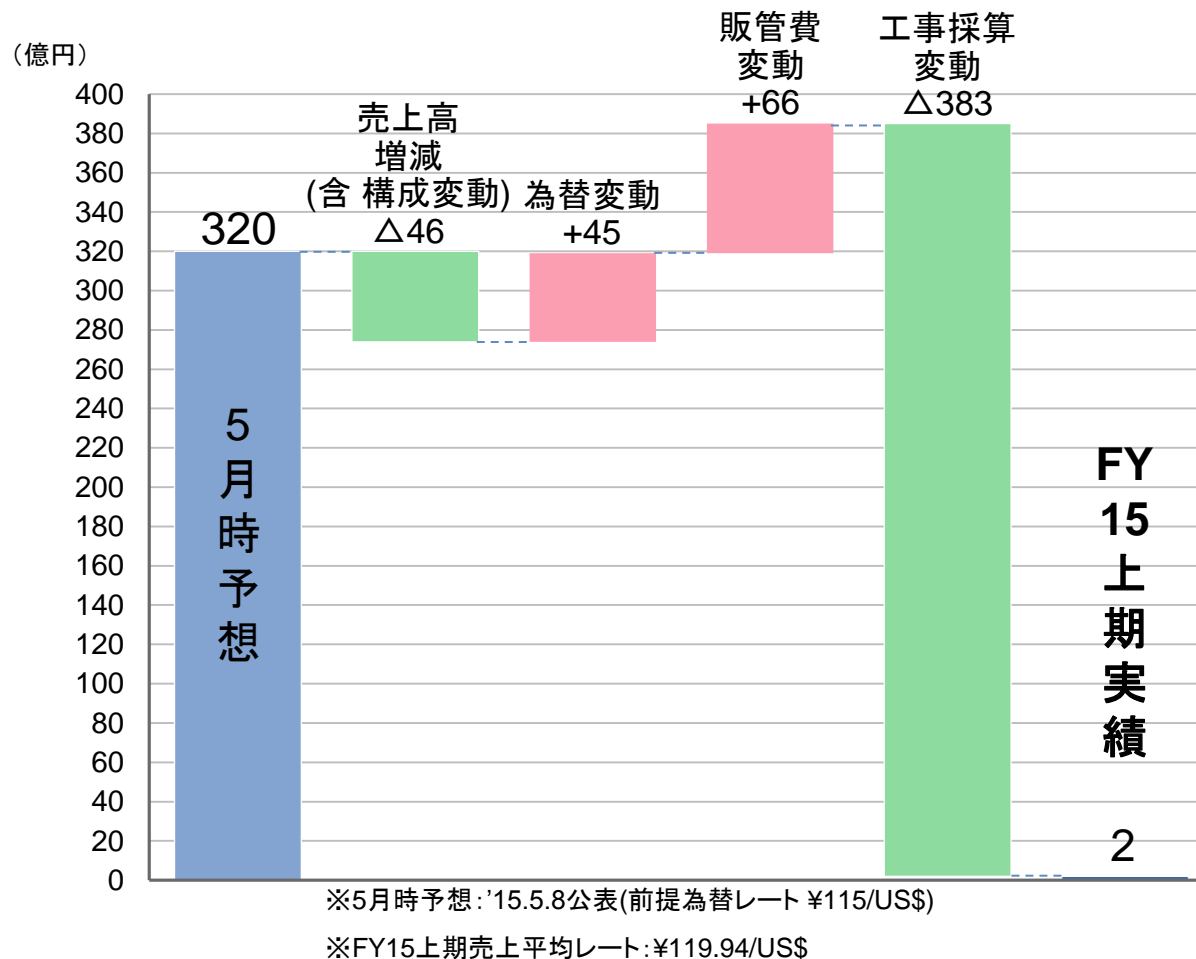
※FY14売上平均レート: ¥110.31/US\$

※5月時予想: '15.5.8公表(前提為替レート ¥115/US\$)

※FY15今回予想の前提為替レートは¥115/US\$

2016年3月期第2四半期決算レビュー②

■ 2016年3月期第2四半期の営業利益増減分析(5月時予想対比)

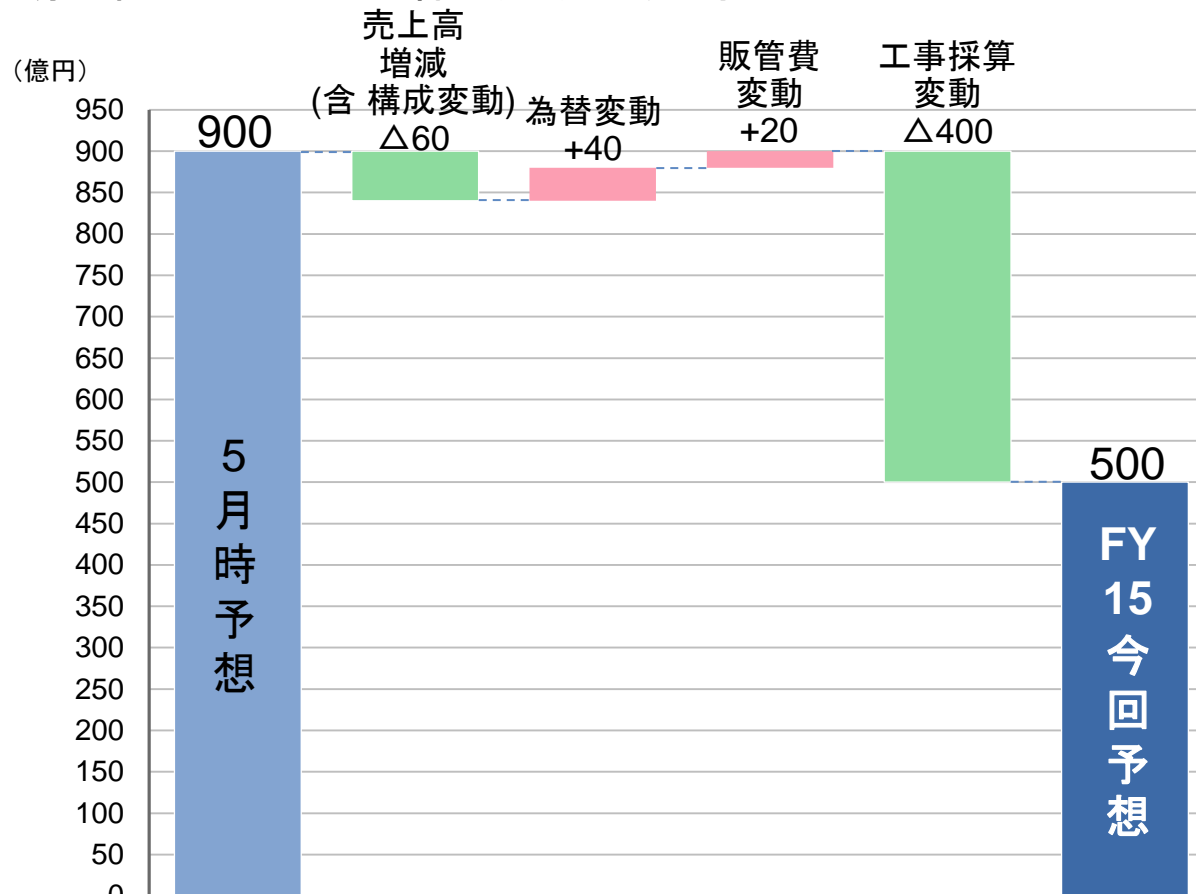


■ 業績変動要因

- 工事採算の変動(悪化)
 - 資源・エネルギー・環境事業(ボイラ)
 - 社会基盤・海洋事業(F-LNG・海洋構造物, 橋梁)
- 販管費の変動(期ズレによる好転)
 - 産業システム・汎用機械事業
 - 航空・宇宙・防衛事業

2016年3月期業績見通し

■ 2016年3月期の営業利益予想増減分析(5月時予想対比)



※5月時予想: '15.5.8公表(前提為替レート ¥115/US\$)

※FY15今回予想の前提為替レートは ¥115/US\$

■ 業績予想の前提

● 上期の悪化要因

- 海洋事業の採算悪化
- イズミット湾横断橋の、キャットウォーク落下事故後の工事促進費用
- ボイラの一部工事の追加費用の発生

● 下期の想定しておくべき事象

- 原油価格下落の影響
- 中国経済減速の影響

F-LNG・海洋構造物事業

- 愛知工場の工程混乱や、購入品の予算超過、プロジェクト体制機能の不足により、2014年度第3四半期連結累計期間以降、大きな業績の下振れが続いているが、このような状況の早期是正と更なる業績悪化の防止に向けて、次の対策を講じていく。
- 2015年7月より、人材の補強と管理体制モニタリング強化に向けて、コーポレート主導の施策（IHIグループの部門を超えた技術者・専門家の配置や、モニタリング強化のための人材補強など）を実施、加えて、LNG船用SPBタンク建造工事のリソースを確保するためのグループ会社を含めた支援の実施
- 今年度より新規受注を中止しており、手持ち工事の完遂に注力することで、業績下振れリスクを最小化
- 上記施策の実行力の強化を図る目的で、10月21日付けで、出川副社長を海洋・鉄構セクター長にする役員人事を実施するなど執行体制を強化

ボイラ事業

- お客さまとの間で受注時の仕様の認識に乖離があり、設計変更・現地工事で追加コストが発生し採算が悪化している案件がある。今後は、受注時のリスク管理に仕様認識の視点をより多く多面的に織込むことで、受注後の採算悪化を防止することに努める。
- 一部案件で、下請け業者の品質不良等による工程遅れの回復コスト、および製作品の補修等によるコスト増加リスクも織り込んでいる。今後は、このような事象を発生させないため、現場作業や製作段階での品質管理（検査項目・検査体制）を一層強化し、品質確保を徹底する。

「グループ経営方針2013」目標数値(売上高, 営業利益)

(単位:億円)

	売上高					営業利益				
	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度			2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度		
			当初目標	5月時 見通し	今回 見通し			当初目標	5月時 見通し	今回 見通し
資源・エネルギー・ 環境	3,440	4,153	4,400	4,800	4,800	116	240	210	310	240
社会基盤・海洋	1,503	1,886	1,600	1,800	1,800	23	-32	100	70	-310
産業システム・ 汎用機械	3,978	4,117	4,300	4,300	4,100	151	102	230	140	120
航空・宇宙・防衛	4,060	4,348	3,800	4,700	4,900	367	395	190	430	470
その他	589	628	600	700	700	19	12	10	20	20
調整額	-532	-575	-700	-500	-500	-144	-86	-40	-70	-40
合計	13,040	14,558	14,000	15,800	15,800	532	632	700	900	500

為替レート

99.05円/\$

110.31円/\$

80円/\$

115円/\$

115円/\$

99.05円/\$

110.31円/\$

80円/\$

115円/\$

115円/\$

「グループ経営方針2013」進捗状況

海外大型案件の進捗状況①

コーブポイント天然ガス液化設備(米国・ドミニオン社)



完成予想図

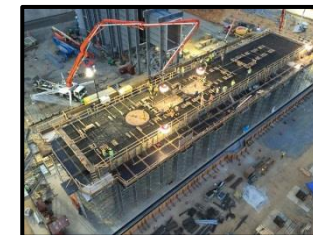


2015年9月現在

IHI/Kiewitジョイントベンチャーでは、2015年9月末現在で、設計はおよそ94%完了し、機器の発注は96%以上完了している。建設は15%完了している。パイプ、構造用鋼の建設が開始された。重量物運搬装置の納入と据付が開始された。パイプと構造用鋼の製作は進行中である。



主熱交換器基礎工事



ガスタービン架台(北側)
コンクリート打設

主要工程

- 2013年4月: 契約締結
- 2013年9月: DOE (米国エネルギー省)のFTA(自由貿易協定)非締結国向け輸出許可
- 2014年9月: FERC (米国連邦エネルギー規制委員会)の建設許可承認(仮設工事着工承認)
- 2015年3月: 起工式挙行
- 2017年末: 完成, 運転開始

プロジェクト概要

- ・受注者: IHI E&C International Corporation (IHI E&C)と Kiewit Energy Companyのジョイントベンチャー (IHI/Kiewit ジョイントベンチャー)
- ・受注内容: コーブポイント天然ガス液化設備のEPC契約
- ・建設地: 米国メリーランド州, ラスビー, チェサピーク・ベイ
- ・担当範囲: 年産約525万トンの液化設備の設計, 建設, 試運転および運転開始

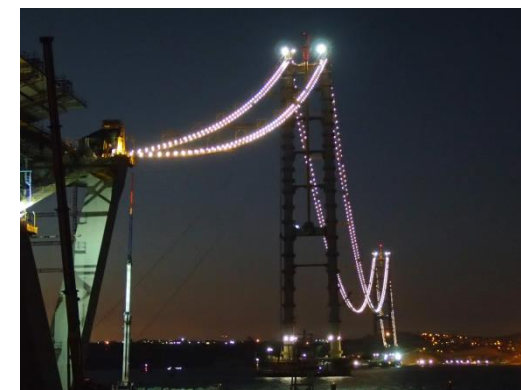
イズミット湾横断橋(トルコ)



イズミット湾横断橋 完成イメージ図



イズミット湾横断橋 位置図



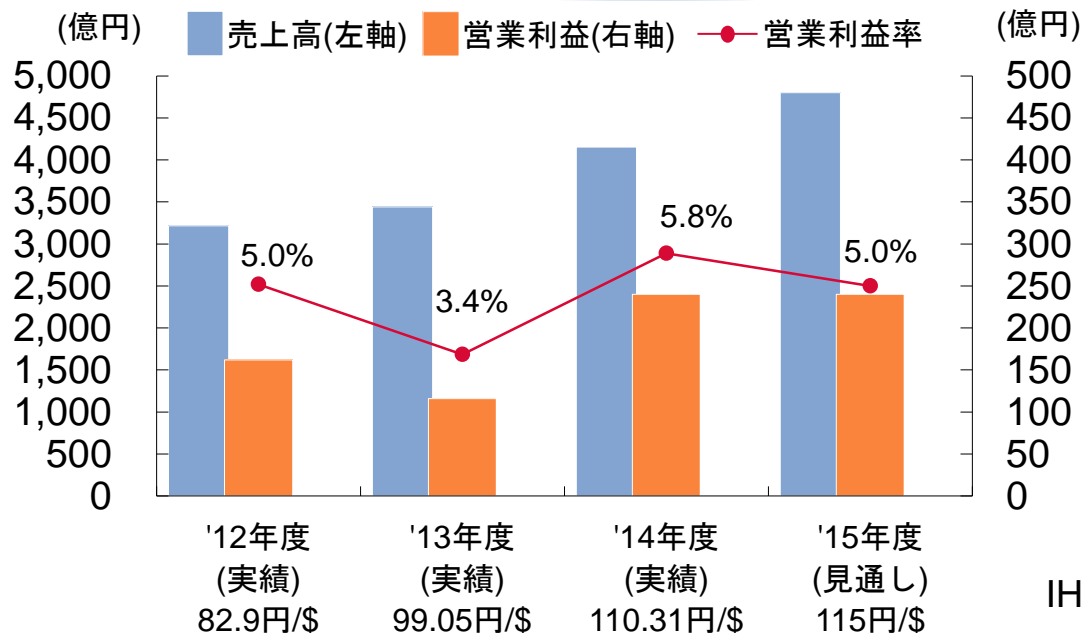
キャットウォークのイルミネーション

現在は、主ケーブルの架設作業を進めており、工程挽回のために施工管理要員・現場作業員の増員、施工設備の増強などの諸施策を実施している。

主ケーブル施工後は主桁施工に移行し、工事完成へ向け、さらに工程挽回に努めていく。

プロジェクト概要

- 橋梁形式：道路吊橋
- 全長：約3,000m
- 建設地：トルコ共和国 イズミット湾
- 請負金総額：約11億USD
(IHIインフラシステムと伊藤忠商事のコンソーシアム)
- 担当範囲：吊橋部の上下部工の設計，製作，架設一式のフルターンキー建設



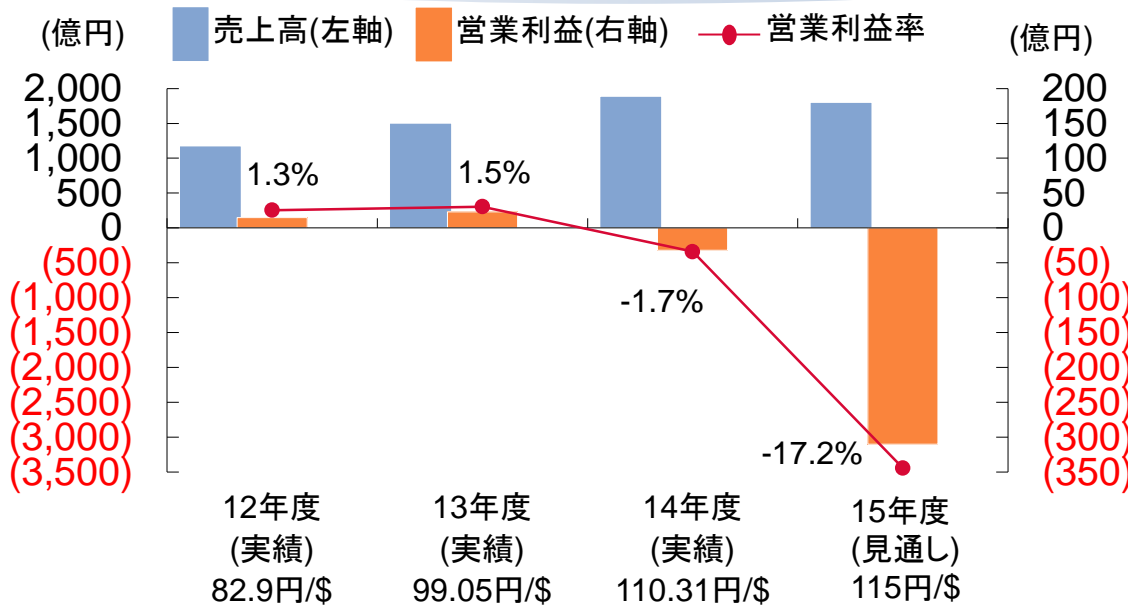
IHIが納入した、神戸製鋼所殿向け神鋼神戸発電所2号機

国内外の旺盛な石炭火力発電設備の需要に対し、堅調なボイラ事業

- 国内有数規模のIPP(独立系発電事業者)である神戸製鋼所から、世界最高水準の発電効率を実現する超々臨界圧大型石炭火力発電ボイラ(出力650MW × 2基)ならびに、ガスガスヒータ装置に関する、設計・調達・建設業務を受注。本件は、同社が神戸製鉄所内に火力発電所を建設するプロジェクト向けで、運転開始は1基目が2021年度、2基目が2022年度の予定。IHIは、同社向けに大型石炭火力発電ボイラを2004年に納入しており、既設機の効率、運用性が高く評価され受注に至った

環境配慮型エネルギー関連製品の開発加速

- ディーゼル ユナイテッドが、4ストローク型ガスエンジンと同様の低NOx化が可能な予混合・希薄燃焼方式を、安全性の高い低圧ガス噴射によって実現させる低速2ストローク型デュアルフェューエルエンジン「W6X72DF実証機」を開発。世界最大となるフルスケール実証機の、運転デモンストレーションを含む実機見学会を開催



豊洲地区と砂町地区の位置図

海外案件への取り組み強化

- IHIインフラシステムが、インドの最大手のゼネコンLarsen & Toubro Limited (L&T) 社とのJVで、インド政府鉄道省傘下の貨物専用鉄道公社から、デリー～ムンバイ間1,500kmを結ぶ貨物専用鉄道橋を受注。本工事は、日印両政府が推進する「デリー・ムンバイ間産業大動脈構想」の根幹をなすプロジェクトであり、西線の両端部555km区間に鋼橋12橋、小規模コンクリート橋5橋を建設する。全線開通後には、輸送時間が大幅に短縮されることから、同国の物流ネットワークの効率化および、経済発展への寄与が期待されている

不動産事業の考え方

- ポテンシャルが高く、開発することで資産価値向上が見込まれる豊洲・砂町地区(東京都江東区)を中心に、資産価値向上を図り、安定的な収益とキャッシュフロー創出を実現していく
- 不動産事業により創出したキャッシュは、成長する事業に優先的に投下することとしており、またM&A等で多額の資金調達が必要な場合は、開発資産の一部売却等、機動的に対応していく

事業概要

<市場環境>

- 足許の原油価格下落の影響により、今後3年は市場規模縮小
- 中長期的な資源需給バランスの観点から、FPSO/F-LNGともに開発ニーズは潜在的に高い

<競争優位性>

- 独自技術であるアルミSPBタンクの技術的な優位性(スロッシング耐性, 検査保守の容易さ, 設計自由度)



海洋構造物事業の基本方針

1 アルミSPBタンクを軸とした事業運営

- アルミSPBタンクの生産性向上を進めるとともに、市場回復に備えて、当該製品を軸に据えた事業構造に変革

2 メインターゲットはF-LNG

- 競争優位性の活かせるF-LNGに注力

3 事業規模に応じた体制・工場の適正化

- 工事量に見合った柔軟な体制・組織と、経営資源の配分

4 他社との連携推進

- 他社との連携・協業を進め、運営体制の強化および事業モデルの再構築を図る



コーポレートの監督強化

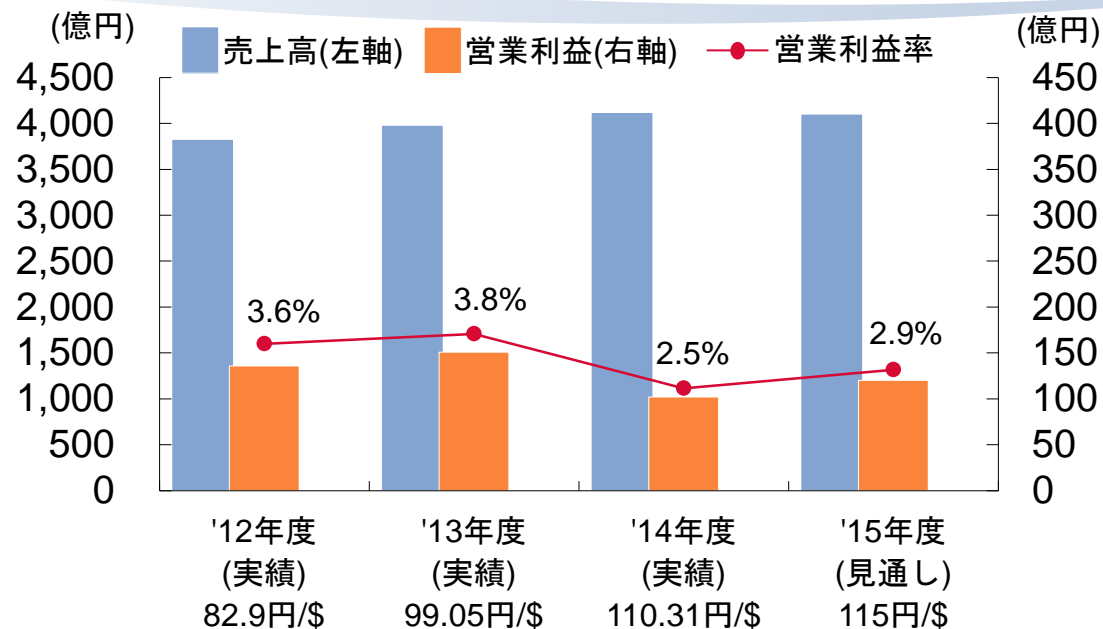
ポートフォリオマネジメントに基づき、モニタリング強化、事業性の見直し・方針変更を適切なタイミングで判断



事業の目指す姿

- 中長期的に需要が見込まれる海洋開発分野へ
- アルミSPBタンクを中心に高収益事業を目指す

産業システム・汎用機械事業



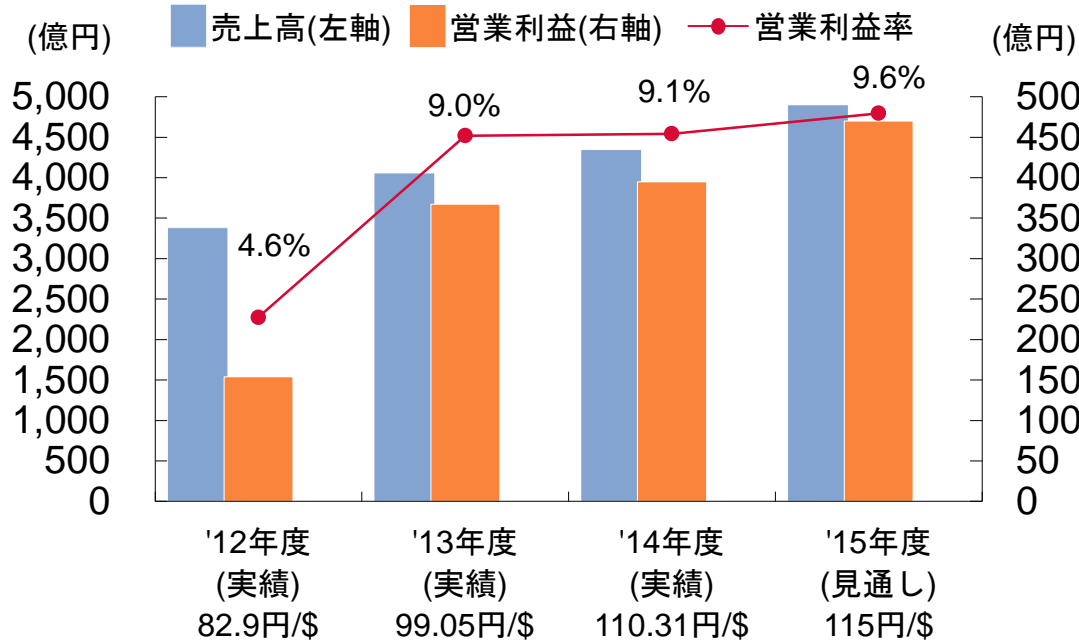
IHIスターとIHIシバウラが中国市場向けに共同開発したコーンピッカー

車両過給機事業の見通しくフォルクスワーゲン(VW)の排気ガス試験不正の影響

- VW・AUDIグループはIHIの車両過給機事業の売上高の約30%を占める主要顧客であるが、同グループ向けに販売しているIHI製のターボは全数ガソリンエンジン用である。したがって、今後想定されるリコール等の市場対応に対する直接的な影響はない
- しかしながら、ブランドイメージの毀損の影響は、VW・AUDIグループの全車種に及ぶ恐れがあることから、今後もお客さまの動向に注意を払うとともに、サプライチェーン全体を統率し、想定される発注量の減少に対応していく

農機事業のグローバル展開

- 中国遼寧省の大手企業である遠大企業集団と農機事業を行なう合弁会社を設立。当社グループの農機事業は、現在、IHIスターとIHIシバウラが国内中心に製造・販売しているが、将来的に成長の余地が大きい海外市場への展開として、中国市場で高品質の農機を提供していく



「PW1100G-JM」向け複合材ファンケースの
量産初号機出荷
IHIエアロスペースでの記念式典

民間航空機エンジンビジネスは堅調

- エアバス社「A320neo」用エンジン「PW1100G-JM」向け低圧圧縮機の量産初号機を、瑞穂工場から、複合材ファンケースの量産初号機を、IHIエアロスペースの富岡事業所から、それぞれ出荷
- ボーイング787、ボーイング747-8向け「GEnx」エンジン用部品の累計出荷台数1,000台達成

宇宙利用分野の拡大

- IHIエアロスペースが、米ボーイング社の100%子会社の大手人工衛星メーカーであるボーイング衛星システムズインターナショナル社から静止衛星用メインエンジンを受注。本エンジンは、米インテルサット社が運営する人工衛星インテルサット35eに搭載される

IHI

Realize your dreams

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際に業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。